

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（家庭）					授業形態	講義		
科目コード	750097	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	種子田 喜久子								
授業概要	<p>本講義の目的は、小学校の家庭科指導の在り方について学ぶことです。そのために、まず、基本となる小学校学習指導要領に示されている家庭科の目標及び内容（A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境）についての理解を図ります。次に、家庭科における問題解決的な学習の進め方について理解するために、学習指導案を作成した後、模擬授業を実施します。これらの活動を通して、実践的な教科指導力を身に付けることを目指しています。</p> <p>宮崎大学教育文化学部附属小学校にて、家庭科の専科の実務経験を有している教員が担当します。また、長く宮崎県小学校家庭科教育研究会の理事等も務めました。この二つの経験から、児童が興味・関心を持って授業に取り組むための具体的な方法や最新の家庭科の情報を提示することができます。</p>								
関連する科目	「家庭」を本講義の履修前に受講することが望ましいです。								
授業の進め方 と方法	毎回の講義は、アクティブラーニング型の展開をします。第1回～第9回は、講義の中で随時学生に質問する対話型の授業を展開します。第10回～第15回は、グループワークを取り入れて学習指導案を作成し、その後自分達で考えた問題解決的な学習の在り方を、模擬授業を通して報告します。								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション及び家庭科とは何か								
授業計画 【第2回】	第2回 小学校家庭科の歴史と変遷								
授業計画 【第3回】	第3回 小学校家庭科の目標及び内容、年間指導計画と題材構成の工夫								
授業計画 【第4回】	第4回 小学校家庭科の学習指導の工夫（授業形態、教材・教具、評価）								
授業計画 【第5回】	第5回 学習指導要領の内容分析と理解①「A 家族・家庭生活」								
授業計画 【第6回】	第6回 学習指導要領の内容分析と理解②「B 衣食住の生活」（食生活）								
授業計画 【第7回】	第7回 学習指導要領の内容分析と理解③「B 衣食住の生活」（衣生活）								
授業計画 【第8回】	第8回 学習指導要領の内容分析と理解④「B 衣食住の生活」（住生活）								
授業計画 【第9回】	第9回 学習指導要領の内容分析と理解⑤「C 消費生活・環境」								
授業計画 【第10回】	第10回 学習指導案の作成①（題材の目標、指導観前半）								
授業計画 【第11回】	第11回 学習指導案の作成②（指導観後半、指導計画）								

授業計画 【第12回】	第12回 学習指導案の作成③（本時の目標、学習指導過程）
授業計画 【第13回】	第13回 模擬授業の準備
授業計画 【第14回】	第14回 模擬授業の実施①（前半のグループ）
授業計画 【第15回】	第15回 模擬授業の実施②（後半のグループ）及びまとめ
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学習指導要領の「家庭」の目標及び内容を理解している。[知識・理解] ○ 小学校の家庭科学習を指導していく上での基礎的・基本的な知識を身に付けている。[知識・理解] ○ 家庭科の学習指導案を作成し、模擬授業を実施することにより、問題解決的な学習の進め方についての授業力を身に付けている。 [汎用的技能] ○ 家庭や地域・社会とのつながりを考え、教科内容の背景となる学問領域を理解し、教師としての資質を高めようとしている。[態度・志向性]
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	<p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領及び教科書の指定された箇所を事前に熟読し、次回の講義内容を把握する。(30分程度)
授業時間外の学修 【復習】	<p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業終了後に示す課題について2回レポートを作成する。(2時間程度) ・ 学習指導案を作成する。(2時間程度) ・ 模擬授業の打ち合わせ及び準備のために、グループで話し合ったり教材教具作ったりする。(2時間程度) ・ 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。(30分程度)
課題に対する フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品及びレポートは、評価後、解説し返却する。 ○ 定期試験は、試験終了後に解答例について解説する。
評価方法・基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 定期試験 — 65点 2) 課題（作品、レポート2点）— 15点 3) 学習指導案及び模擬授業 — 20点
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学習指導要領解説・家庭科編 ○ 「わたしたちの家庭科」（開隆堂）の教科書
参考書	なし
備考	